

ESG・SDGsへの取組み

東洋不動産グループはこれまで、事業用不動産のプロフェッショナル集団として、60年以上にわたって事業用不動産の分野で価値あるサービスをご提供すべく努力を積み重ねて参りました。当社もその一員として、アセットマネジメント事業において各種取組みを進めて参りました。以下に、当社で既に取組んできていることの事例をご紹介します。（2022年6月現在）今後も、すべてのステークホルダーの皆さまの意識変化に対応し、持続可能な社会づくりに貢献できるようなESG、SDGsの取組みを推進していきます。

1 環境 (Environment)



◆ 環境認証の取得

- ・ CASBEE建築評価認証(新築)：Aランク
- ・ CASBEEスマートウェルネスオフィス評価認証(新築)：Aランク
- ・ DBJ Green Building 認証(プラン)：2020 Plan 

CASBEE：建築物の環境性能で評価し格付けする手法（S、A、B+、B-、C）。省エネルギーや環境負荷の少ない資機材の使用といった環境配慮や、室内の快適性や景観への配慮等も含めた建物の品質を総合的に評価するシステム。2001年4月、国交省支援のもと、産官学共同プロジェクト。

DBJ Green Building認証：「環境・社会への配慮」がなされた不動産とその不動産を所有・運営する事業者を支援する取組みとして2011年に創設された認証制度。ESGに基づく5つの視点から評価し、不動産に携わる幅広いステークホルダーの対話ツールとして利用されている。



◆ 環境負荷軽減の各種取組み

- ・ 屋上緑化
- ・ 太陽光発電システム設置



- ・ 照明のLED化
- ・ GHP(ガスヒートポンプエアコン)の導入・機器更新
- ・ 非化石電力の導入

◆ 職場での取組み

- ・ 会議のペーパーレス化、デュアルモニター使用による印刷抑制、両面印刷・白黒印刷推奨、等
- ・ 名刺やノベルティにエコ素材利用、等

2 社会 (Social)



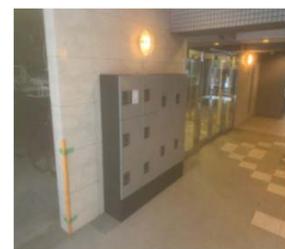
◆ 地域社会への貢献

- ・ 地域の学校の社会科見学受け入れ
- ・ 災害対応ベンダーの設置



◆ テナント満足度向上

- ・ 休憩スペースの改修、イートインコーナー設置
- ・ スマートロックの導入
- ・ 宅配ボックス、置き配システムの設置



◆ 職場での取組み ～働きやすい職場環境

- ・ リモートワークおよびそのためのインフラ・環境整備
(電子押印、電子署名、固定電話→スマホ化、等)

3 ガバナンス (Governance)



◆ 透明性あるアセット運用、投資家利益の最大化

- ・ 「運用ガイドライン」を策定。これに則った運用実施
(ESGへの取組み強化もガイドラインに盛り込み)
- ・ 外部専門家を含む各種委員会、社外取締役を含む取締役会を経て意思決定
- ・ セイムポート出資
(投資家様との利益一致、→投資家様の利益最大化)

⇒ コーポレートガバナンス体制については、当ホームページ内の「会社案内→コーポレートガバナンス」をご参照下さい。